

Omiya station East entrance Conference

大宮まちづくり月報 OEC 4月例会

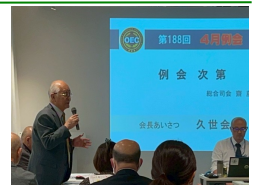
魅力的な地域づくり 人と人を繋ぐOEC

例会スケジュール

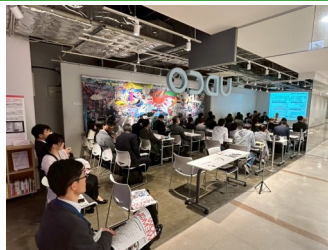
第189回5月22日
まちラボおおみや
18時～

第190回6月26日
まちラボおおみや
18時～

久世会長挨拶 皆さんこんばんは。各社新任のご挨拶、さいたま市のご紹介をさせていただきます。今後ともまちづくりを進めてまいります。本日は、まちづくり事務所さんよろしくお願いたします。



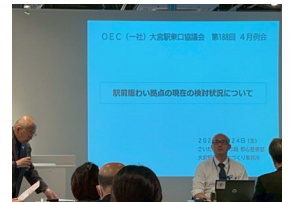
行政報告



事務局報告

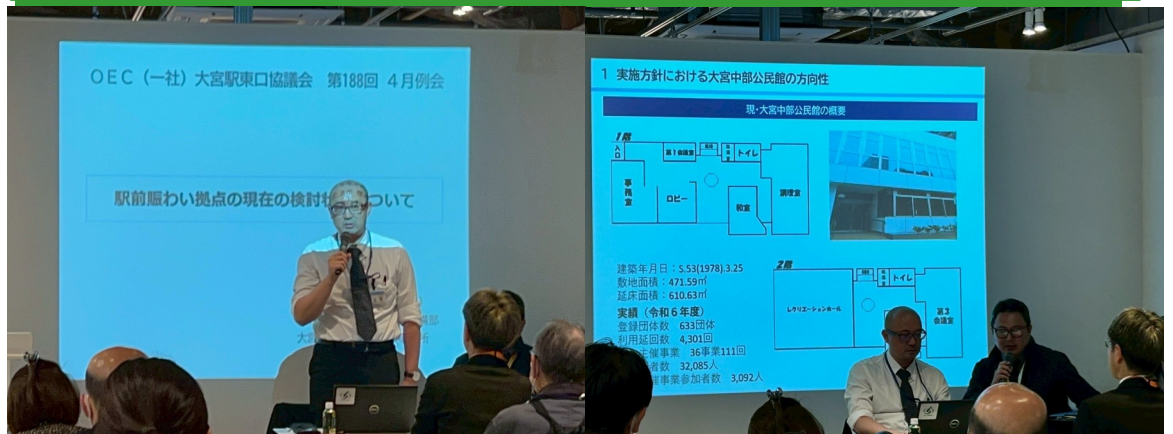
- ・5月理事会について
- ・定時総会について

齋藤専務



- 次 第
 - ・会長挨拶
 - ・例会主題
- 駅前賑わい拠点の現在の検討状況について
さいたま市都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所
閉会

駅前賑わい拠点の現在の 検討状況について さいたま市都市局都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所



Step 2: 導入機能選定に向けた軸となる方向性

大宮駅東口の商業エリアからほどよく離れたこの場所に、駅前再開発の中で、はじめて見られる「街」を創ります

余白とは

余白による効果

- 人が歩きたい場所をつくる
- 人々の交流拠点として経済の活性化を促す
- 自然が光景に馴染みよく調和する共有空間
- 自然が光景に馴染みよく調和する共有空間
- 学校施設では得られない教育機会を生み出す
- 駅前の喧騒と静かな住宅の調和
- 商業圏に多くの人々が集まることのできる遊歩場
- 季節ごとの街並みの変化に対応できる共有空間

大宮に「新たな魅力」と「個性」を生み出す
まち全体に広がりがある可能性を

第2回懇話会（事例視察）について

まちづくりのコンセプトである「大宮駅近辺の心地のよいひと」と「真のモノ・コンテンツ」の融合をイメージしやすい事例の視察により、実際の機能と空間を体感し、共有する

■ グリーンズプリングス

- 1階が駐車場、2階が水と緑豊かな広場
- 広場を囲むように、オフィス、商業店舗、ホテルに加え、ホールや美術館、こどものための複合文化施設等の機能を配置
- ホテルを中心とした建物をコンセプトに公園調の植栽を活かしたここならではの施設

■ 代々木公園 BE STAGE

- 道路に面する位置に開放的な広場を配置
- 広場は様々な活動に対応可能な特徴のある空間を複数設置
- それぞれの広場では、各テナントや地域と連携した様々なイベントを開催

第2回懇話会（事例視察）の振り返り（敷地規模感と立地の比較）

グリーンズプリングス 敷地面積:約39,000㎡、立川駅から徒歩8分（約550m）

代々木公園 BE STAGE 敷地面積:約4,000㎡、原宿駅から徒歩6分（約400m）

駅前賑わい拠点 敷地面積:約33,000㎡、大宮駅から徒歩5分（約150m）

さいたま市の基本計画

新たなまちづくりの方向性

まちづくりの課題

- 暮らしやすさや安心・安全を確保
- 暮らしやすさや安心・安全を確保
- 暮らしやすさや安心・安全を確保

グリーンズプリングスの取組の推進

社会課題の解決に貢献

第1回懇話会の論点と主な内容①

【議題】青い機能選定の考え方の正当性、この機会に望まれる導入機能の内容を議論

【目的】導入機能の決定、関係者が導入による課題条件の整理を踏まえ、関係者の「導入機能のイメージ」を以下の3つに絞る

民間提案に変わる「望ましい機能」から「前提条件とする機能」を決定して具体化

1. 望ましい機能
 - ① 商業・文化・教育施設
 - ② 交通施設
 - ③ 公園・緑地
2. 前提条件とする機能
 - ① 交通施設
 - ② 公園・緑地
 - ③ 商業・文化・教育施設
3. 望ましい機能
 - ① 商業・文化・教育施設
 - ② 交通施設
 - ③ 公園・緑地

★関連範囲図

大宮駅東口協議会

大宮駅東口協議会

大宮駅東口協議会

Step 1: この場所ならではの立地特性（周辺の視点）

大宮駅東口駅前広場、地域連携拠点、水川神社・大宮公園の中間地点に位置
大宮中央通り、水川公園の交差点に位置

大宮駅は駅前広場、水川公園、水川神社、大宮公園の中間地点に位置
大宮中央通り、水川公園の交差点に位置

大宮駅は駅前広場、水川公園、水川神社、大宮公園の中間地点に位置
大宮中央通り、水川公園の交差点に位置

第1回懇話会の論点と主な内容②

【議題】新しい大宮小学校のあり方、施設に備えるべき機能を議論

【目的】馴染み深い地域の教育方針に、大宮駅東口ならではの「導入機能（教育施設）」を盛り込む

新しい時代の学びを実現する学校施設のあり方について、意見を共有する

小学校・公民館の各空間・機能のイメージ（仮定イメージ）

(6) 他市事例②

学校施設と社会教育施設等との複合化事例

- 同じ敷地内に、小学校とホール、会議室、調理場といった社会教育施設を併設させ、地域コミュニティの核を形成している。
- 地域住民の学習の拠点として、またこれらの施設での活発な活動による地域住民と児童との交流の場として機能している。

第1回懇話会の論点と主な内容③

【議題】新しい大宮小学校のあり方、施設に備えるべき機能を議論

【目的】馴染み深い地域の教育方針に、大宮駅東口ならではの「導入機能（教育施設）」を盛り込む

新しい時代の学びを実現する学校施設のあり方について、意見を共有する

小学校・公民館の各空間・機能のイメージ（仮定イメージ）

(2) 本市の方針②

「さいたま地域づくりプロジェクト」の概要

- 1 人づくり
- 2 つながりづくり
- 3 地域づくり

「さいたま地域づくりプロジェクト」の推進体制

分科委員は、地域住民とコミュニケーションを密に取る。市民参加を促進する。市民参加を促進する。市民参加を促進する。

(5) 大宮中部公民館の導入機能の方向性

小学校

公民館

オープンスペース

イベントや集まりを通じた多世代交流や地域課題の解決

市民参加を促進する

Step 1: この場所ならではの立地特性（防災の視点）

地域の方々から、災害時に使える避難スペースの充実が必要
緑地避難者対策として、一階層に避難の拡充が必要

防災拠点等の整備状況

東口周辺は、避難場所とならうような広場が少ない
大宮駅西口に比べ、東口は緑地避難者一時滞在施設の数が少ない

まちづくりプラン策定に向けてのスケジュールとプロセスのイメージ

大宮駅東口協議会

大宮駅東口協議会

大宮駅東口協議会

第188回 4月例会

例会次第

総務委員会

会長あいさつ 久世